

◇◇近畿病院図書室協議会◇◇

平成 21 年度 第 36 回 総 会 報 告

日時：平成 22 年 3 月 30 日（火）

14：15～16：00

会場：神戸国際会館

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記 選出

議長：石川 尚子

副議長：畑 美之

書記：春日井 泉江

3 議案審議

1) 平成 21 年度活動報告

2) 平成 21 年度会計・監査報告

3) 平成 22 年度活動方針

4) 平成 22 年度事業計画

5) 平成 22 年度予算

6) 役員改選

7) 平成 22 年度会長・事務局長承認

(議案 3)～(7) は審議の結果承認された)

閉会

総会員数：126 機関（うち議決権 122 機関）

出席：24 機関

委任状：84 機関

合計：108 機関（会員の 2/3 以上の数を
みだし総会成立）

議案 I. 平成 21 年度活動報告

昨年度に引き続き、平成 21 年度は近畿病院図書室協議会所蔵目録 Web 版（Kinki Webcat）のメンテナンス、研修会開催、会誌発行などの事業活動を行った。幹事会には今年度は新たに

1 名が加わったものの、総数としては減少し、8 名の幹事で運営にあたった。幹事の減少に伴い、活動が若干停滞気味となった面も否めないが、昨年度と同様に、従来の事業の継続に重点を置いた一年といえよう。

継続事業のうち、教育研修活動では、定例の研修会を 1 回、新任向けの勉強会を 1 回行った。第 121 回研修会は、2010 年 3 月 30 日に「事例・研究報告会」として例年と同様、第 36 回総会と同時開催する。

出版広報活動では、会誌「病院図書館」29 巻を定期刊行した。連載や報告記事のほか、各号ともユニークな特集を組んだ。記事内容については概ね好評を得ているが、依然として発行状況は遅れ気味であり、年度に合わせた発行は難しい状態が続いている。発行準備は順次行っているが、全ての発行が終わるのは 4 月以降になる。

当協議会ホームページについては、さらに改修を加え、内容、見やすさ、使いやすさを意識したサイト作りを心掛けた。今後も広報活動のツールとしてさらなる有効利用を目指したい。

会員向け広報のひとつとして、2008 年 12 月より電子メールを用いたニュースレターの配信を開始した。2010 年 2 月現在 107（105 機関）の登録がある。今年度は 3 号～6 号の発信を行った。既報の情報確認を主目的にしているが、今年度から一部予告情報も入れ、公式文書としての案内より、少しでも早く情報を伝達できるような役割をもたせられないかと試行してみた。

医学文献情報活動の中心となる Kinki Webcat の稼働は 4 年目を終えた。有料での改修作業は徐々に進めているが、会員間での文献流通がスムーズに行えるよう、今後もさらなるバージョンアップを行いたい。会員からの疑問・質問、不具合への対応、広報などには例年通り目録サ

ポートチームが当たった。

今年度の統計調査は簡易調査の年であった。集計した報告書は会員へ発送済みである。昨年度からの懸案事項である、会員機関の図書館運営の参考になる情報の公開については、決定にいたらなかったが、来年度の詳細調査にむけ検討を重ねていきたい。

対外交流では、今年度は特に大きなイベントはなかったが、日本病院ライブラリー協会主催の図書館振興財団専門図書館員育成事業として開催された「病院図書室新任担当者研修会」には名簿の提供で協力し、当協議会からの参加もあった。日本医学図書館協会とは、会員間の文献相互貸借など従来通り交流を深めた。その他、日本病院ライブラリー協会や各地区の病院図書館ネットワークとは、それぞれ会誌交換や寄稿などの交流を行った。

今年度の研究助成金制度の活用には1題の研究の新規申請があった。3年を終了し、研究に区切りが付き、成果を発表できたものもある。大きな研究課題だけでなく、身近なものからテーマを見つけ出すのも日常業務に根ざしたスキルアップにつながることである。研究を行うのは困難を伴うにしても、その成果は会員へ還元できるものと考えるので、助成は継続していきたい。

I-1. 各部からの報告

I-1-1. 研修部

1. 活動報告

1回の勉強会、2回の研修会を開催した。

(1) 研修企画

[第29回勉強会（新任者研修会）]

日 程：2009年7月13日（月）

時 間：14:00～17:00

場 所：大阪労災病院 管理棟2階
カンファレンス室

プログラム：

- ①近畿病院図書室協議会について
- ②病院図書館の基本業務（整理と保管）

③文献入手について

④図書室見学

参加者数：15名（講師、開催施設を除く）

[第120回研修会]

日 程：2009年12月19日（土）

時 間：10:30～16:30

場 所：大阪ハイテクノロジー専門学校 2階
PCルーム

テーマ：EBMと文献検索

プログラム：

1. ネットにない情報・知識・知恵の提供
～レファレンスの現場から～
大阪大学附属図書館生命科学分館
諏訪敏幸氏
2. 新しいPubMedのご紹介
～講義と演習～
株式会社サンメディア リサーチ
ソリューションズ データベース
サーチグループ
松村高雄氏
3. プロダクトレビュー
ProQuestのエビデンスツールのご紹介
株式会社サンメディア e-Port
藤田美穂氏
4. スモールグループディスカッション
～参加者交流～
テーマ：相互協力活動の未来

参加者数：34名

[第121回研修会（事例・研究報告会）]

日 程：2010年3月30日（火）

時 間：10:00～12:00

場 所：神戸国際会館

プログラム：

1. NACSIS-ILL参加報告-よりよい相互貸借の実現をめざして
演者：藤原純子（洛和会音羽病院）
2. 看護研究入門者への支援
演者：武田昭子（刈谷豊田総合病院）
3. ピクトグラムについて
演者：寺澤裕子（関西労災病院）

共同演者：川野真樹（京都第二赤十字病院）
 武田昭子（刈谷豊田総合病院）
 松尾知香（石切生喜病院）

4. 近畿病院図書館協議会アンケート報告 —ネットワークの在り方—期待と課題

演者：林 伴子（事務局）

参加者数：29名（会員27名、会員外2名）

(2) 研修部会議

第1回 2009年5月30日（木）大阪 3名

今年度は1名が退任し、いろいろ呼びかけたが新たな増員は実現せず、継続の3名で運営した。企画方針としては、2回の通常研修会、小規模勉強会の複数開催、ひとり一台のパソコンを使用した夜間勉強会などを掲げた。しかしながら、研修部会議を開催する時期に神戸で新型インフルエンザの集団感染があったため、自主規制をしたことにより時期が遅れた。研修会開催自体にも影響があった。またマンパワー不足は如何ともしがたく、従来通りの研修会開催には至らなかった。

(3) 勉強会

第29回は、新規入会機関の担当者と新任担当者を対象とした。新入会の担当者の参加に重点をおいた日程調整を行った。予想以上に参加者が多かったが、それでも少人数であるので、交流を深める機会となり、概ね好評を得たことは研修部としてはうれしい限りである。図書室の見学も含んでいたため、業務の参考になったのではないかと考える。

(4) 研修会

今年度は通常の研修会を1回行った。

第120回では、レファレンスという、図書館員として専門性の発揮できる業務について、エキスパートである講師から講義していただくことができた。大学図書館と病院図書館では規模も業務内容も異なるが、利用者に寄り添い、さらなるスキルアップを目指す姿勢に共感を覚えた。

バージョンアップしたPubMedの紹介も時宜にあったものであったが、一度講義を受けただ

けではなかなか身に付かないということも認識させられた。

グループディスカッションでは相互協力の今後ということで討議した。それぞれ今後の当協議会のあり方について示唆に富む発言があった。

2. 今年度活動報告

今年度は新型インフルエンザの蔓延による影響やマンパワー不足により、2回の研修会、1回の勉強会のみで開催となった。

しかしながら、数少ない研修会、勉強会の開催に当たっては多数のご参加をいただいた。研修会に対する会員の期待の現れと感じている。

第120回研修会のグループディスカッションではもっと地域に根ざした茶話会、懇談会のような取り組みを提案された。まず身近な集まりで会員間の連帯を深めることも研修部の活動の一つといえるので、幹事会、地域の会員の協力を得ながら来年度は実現させたい。

また、夜間勉強会の開催には年度当初からいろいろ考えてきたのであるが、なかなか具体化しなかった。来年度は講師・内容に見通しがついたので、年度初めの取り組みとしたい。

企画段階ではいろいろ案が提出されたが、実現に至らなかったことの一因として、研修部員の不足がある。機動力、企画力とも人手が必要で、今年度のように少ない人数での実施となるとやはり制約が多い。来年度にはぜひとも多数の研修部員の増員を望んでいる。

昨年度より多くの方に参加していただくこと、会員の参加費用を無料としている。今年度は総会参加への助成があったが、来年度は交通費の助成も実現したい。

3. 部員

部長：林 伴子（社会保険神戸中央病院）

部員：田中 律子（大阪滋慶学園）

高橋 育子（姫路聖マリア病院）

I-1-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌28巻4号および29巻1、2号を発行。

配布部数：215部（会員126、講読会員70、交換・寄贈19）

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

28巻（2008年）

4号（発行2008年7月 54頁）

特集：レファレンス・カウンター

レファレンスサービスの基礎

レファレンスのためのインタビュー術—3C

能力を持つインフォプロを目指して—

人材派遣・業務委託における研修制度—レ

ファレンス育成を通じたサービス向上への

取り組み—

レファレンス協同データベース事業

29巻（2009年）

1号（発行2009年10月 48頁）

特集：とことん看護研究

看護研究の研究デザイン

病院看護師の人材育成と看護研究の意義

アンケート調査におけるデータ入力的基础

日本看護協会公式ホームページの活用：“最新看護索引Web”を中心に

2号（発行2010年3月 64頁および別冊会員名簿 19頁）

特集：総会・事例報告会（第119回研修会）

病院図書館におけるサービス（情報提供）の専門性を探る—医学図書館・公共図書館・病院図書館の役割—

【図書室だより】のWeb配信を開始して

病院図書館における看護師への支援を考える—看護専門学校図書室での経験を振り返って—

当院図書館の現状と課題—業務引き継ぎにあたって—

(2) シリーズ掲載

「いますぐ役立つホームページ」

26. Ronbun.jp (Vol. 28 No. 4)

27. ベルブック online journal (Vol. 29 No. 2)

「電子資料解題」

8. EBSCO Medline with Full Text (Vol. 29

No. 1)

「図書館員のツボ」

9. 絵を描こう!!!—オートシェイプの楽しい使い方— (Vol. 28 No. 4)

10. デジタル動画データ (Vol. 29 No. 1)

11. バンクーバースタイルの参考文献規定 (Vol. 29 No. 2)

「ちょっとこぼれ話」

25. (Vol. 28 No. 4)

26. (Vol. 29 No. 1)

27. (Vol. 29 No. 2)

(3) 掲載広告各社

サンメディア

科学技術振興機構

ユサコ

医学中央雑誌刊行会

ベルブック

丸善

ナカバヤシ

南江堂

(4) 編集会議

第1回 2009年4月18日（土） 茨木 4名

第2回 2009年5月23日（土） 茨木 4名

第3回 2009年9月12日（土） 茨木 4名

臨時 2009年10月7日（水） 茨木 4名

第4回 2010年1月23日（土） 茨木 4名

2. 今年度総括

今年度は部員1名が産休に入っていた。会誌の編集について、内容的にはいいものをつくっている自負はあるが、なかなか発行のペースを取り戻せない状況である。今後も部員の確保に努め、さらなるレベルの向上を目指してがんばっていききたい。

来年度は会誌創刊30周年を迎え、いくつかの企画を検討している。その一つとして図書出版を計画しており、独創的で業務に生かせる内容にしたいと考えている。

3. 部員

部長：増田 徹（藍野大学）

部員：井上智奈美（三菱京都病院）

寺澤 裕子 (関西労災病院)
 松尾 知香 (石切生喜病院)
 若杉 亜矢 (松下記念病院)

I-1-3. 統計調査部

今年度の統計調査は、平成20年度の会員図書館の実状について調査した。

調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は簡易調査の年にあたり、年次統計調査のみを実施した。

1. 図書室統計調査報告書の発行

- a. 調査対象期間：2008年4月1日～2009年3月31日
- b. 調査対象：全126会員施設中、賛助会員を除く122施設に依頼
- c. 調査項目：年度統計調査
- d. 作業経過：
 - 2009年8月19日 調査用紙を各施設へ発送
 - 2009年8月26日 ホームページに統計調査発送の告知と回答依頼
 - 2009年9月30日 回答締切日
 - 2009年10月16日 未回答施設へ回答依頼
 - 2009年10月30日 回答最終締切
 - 2010年2月8日 統計調査報告書発送
- e. 回答施設：84施設 (回答率 68.9%)

2. 文献の相互利用 —平成20年度協議会全体での件数— (2010年2月5日)

〈相互貸借依頼〉(84施設)

| | | |
|---------|--------|-----------|
| 協議会会員 | 7,180 | (18.70%) |
| 会員以外の病院 | 5,732 | (15.00%) |
| 大学図書館 | 17,713 | (46.20%) |
| 文献手配業者 | 5,531 | (14.40%) |
| 国立国会図書館 | 1,048 | (2.70%) |
| その他 | 1,101 | (2.90%) |
| | 38,305 | (100.00%) |

〈相互貸借受付〉(84施設)

| | | |
|---------|--------|-----------|
| 協議会会員 | 8,909 | (52.50%) |
| 会員以外の病院 | 7,598 | (44.80%) |
| その他 | 459 | (2.70%) |
| | 16,966 | (100.00%) |

3. 経費

支出：

| | |
|----------|---------|
| 調査用紙コピー代 | 2,928円 |
| 依頼状発送費 | 9,760円 |
| 報告書コピー代 | 23,184円 |
| 報告書発送費 | 10,080円 |

4. 部員

武田 昭子 (刈谷豊田総合病院)

I-1-4. ホームページワーキンググループ

1. 活動報告

- 2009年4月 レンタルサーバの契約メニューを変更
- 2009年9月 ホスティングサービス、ドメイン維持契約更新
- 2009年9月～12月 ホームページリニューアルについて幹事会に諮り、意見を集約
- 2009年12月16日 ホームページリニューアルについて打ち合わせ
- 2010年3月 HTML新規作成、プログラミング作業着手
- 2010年4月20日 リニューアル公開 (予定)

2. 経費

支出：

| | |
|---------------------------|-----------------------|
| ドメイン更新費用 | 5,040円 |
| ドメイン取得事務手数料 | 3,150円 |
| ランニング費用 (スタンダードコース/CGI利用) | 10,500円/月 126,000円 |
| ホームページリニューアル デザイン料 | 31,500円 |
| HTML 新規作成 | 10,500円 × 12 126,000円 |
| HTML 新規作成 (下層ページ) | 5,250円 × 33 173,250円 |

3. 今年度総括

2009年4月よりレンタルサーバの契約メニューを変更し、ディスク容量を倍増させることにより自由なレイアウトが可能となった。新ホームページの公開は2010年4月20日を予定している。ホームページの活性化を目指し、新

しく会員限定のページを設けることで会員間の交流や情報交換が気軽にできる場を提供する。さらにセキュリティを強化させ、掲示板の公開形式を選択できる新たな機能を加えるが、従来通り会員外の利用も可能にすることにより幅広く情報の収集に努める。今後も定期的にメンテナンスを行い、2年に一度のサイクルでホームページの改修をし、より一層サービスの向上につなげていきたい。

4. 部 員

佐藤 道子 (兵庫県立光風病院)

I-1-5. 目録サポートチーム

1. 概 要

近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版 (通称: Kinki Webcat)

<http://webcat.sunmedia.jp/khlacat/>

2010年1月時点

登録機関数: 122 機関

登録タイトル数: 3,599 タイトル

所蔵レコード数: 24,565 レコード

2. 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版 (通称: Kinki Webcat) 利用状況

2009年(1~12月)

トップページ アクセス: 40,578

雑誌検索利用ログ: 96,692

機関検索利用ログ: 10,065

3. 経 費

支出:

所蔵雑誌目録 web サイト年間保守料
105,000 円

所蔵雑誌目録 web 版改修費
420,000 円

4. 今年度総括

Kinki Webcat の稼働から3年が経過し、昨年度において構築費用の支払いが完了した。本年度は、機能改善のための改修を行っている。電子資料への対応として、Kinki Webcat へのメディカルオンラインの登録を計画している。

登録タイトル数の増加、書誌データの整備が進んでおり、引き続き、最新データへの更新と

データ整合性の保持に努め、電子資料への対応を進めていく。

2009年11月に、Kinki Webcat のログインパスワードの変更希望受付を各会員へ送付した。同様の働きかけを今後も年1回程度継続して行い、会員の Kinki Webcat の利用を促していく。

5. 部 員

部 長: 川野 眞樹 (京都第二赤十字病院)

部 員: 春日井泉江 (名古屋記念病院)

高須賀京子 (松山市民病院)

林 伴子 (社会保険神戸中央病院)

I-1-6. 会員業績 (当協議会内関係での発表は除く)

(1) 中嶋吏栄

病院機能評価 Ver. 5.0 を受審して

ほすびたる らいぶらりあん; 34(3):173-178.

(2) 若杉亜矢、神山貴子、山室眞知子、杉本節子

ポスター発表 国外における一般市民への

医学情報提供の現状 文献的考察

第26回医学情報サービス研究大会 (東京)

2009.7.4-5

(3) 乾 郁子

【利用者のニーズに沿った支援を行う】報告書の作成について

日赤図書館雑誌; 15(1):14-15.

(4) 川野眞樹

【利用者のニーズに沿った支援を行う】患者図書室の設置

日赤図書館雑誌; 15(1):12-13.

I-2. その他

I-2-1. 幹事会

今年度は4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

第1回 2009年4月20日(月)

大阪労災病院 7名

第2回 2009年7月10日(金)

大阪労災病院 6名

第3回 2009年10月26日(月)

大阪労災病院 8名
 第4回 2010年1月25日(月)
 大阪労災病院 6名

議案Ⅱ. 平成21年度会計・監査報告

I-2-2. 役員会

2010年2月16日、社会保険神戸中央病院において平成21年度役員会が開催された。役員会資料(平成21年度議案書草案)に沿って議事進行し、平成21年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成22年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成22年度会長については西尾晃現会長(社会保険神戸中央病院)が再選された。また、事務局長には林伴子現事務局長(社会保険神戸中央病院)が再選された。会則に則り、それぞれ今年度の第36回総会に諮ることになった。

I-2-3. 会員の状況

会員数:126機関(会員122、賛助会員4)

(2010年2月現在)

入会:2機関(医療法人橘会 東住吉森本病院、医療法人清恵会 清恵会病院)

退会:2機関(名古屋第一赤十字病院、愛染橋病院)

I-2-4. 対外交流

対外交流では、今年度は特に大きなイベントはなかったが、日本病院ライブラリー協会主催の図書館振興財団専門図書館員育成事業として開催された「病院図書館新任担当者研修会」には名簿の提供で協力し、当協議会からの参加もあった。

医学情報サービス研究大会は原則個人参加であるが、当協議会からは以前より編集部員の派遣を行っている。今年度も編集部から参加したほか、当協議会の研究助成からの発表もあり、他施設、他ネットワークとの交流の場となった。

(収入の部)

予算

決算

| 費目 | 金額 | 費目 | 金額 |
|--------------|-----------|---------------|-----------|
| 前年度繰越金 | 738,931 | 前年度繰越金 | 738,931 |
| 会費 | | 会費 | 3,660,000 |
| 平成21年度 | | 平成20年度 | |
| @ 30,000×122 | 3,660,000 | @ 30,000×7 | 210,000 |
| @ 50,000×4 | 200,000 | 平成21年度 | |
| 平成17-20年度未納 | | @ 30,000×113 | 3,390,000 |
| @ 30,000×31 | 930,000 | 賛助会費 | |
| @ 40,000×1 | 40,000 | @ 50,000×1 | 50,000 |
| 事業収入 | | 入会費 | 10,000 |
| 会誌購読会費 | | 事業収入 | 360,359 |
| 平成20年度 | | 28巻購読会費 | 60,000 |
| @ 6,000×70 | 420,000 | 29巻購読会費 | 276,000 |
| 未納 | | 会誌購読料 | 1,500 |
| @ 6,000×20 | 120,000 | 刊行物売上 | 19,650 |
| その他 | | メディカルオンライン使用料 | 209 |
| 広告掲載料 | | 研修会参加費 | 3,000 |
| 29巻 | 333,000 | 利息 | 935 |
| 28巻 | 290,000 | その他 | |
| 25-27未納分 | 901,000 | 広告掲載料 | |
| | | 25-29巻 | 822,000 |
| 計 | 7,632,931 | | 5,582,225 |

(支出の部)

予算

決算

| 費目 | 金額 | 費目 | 金額 |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 総会費 | 150,000 | 総会費 | 137,088 |
| 業務委託費 | 40,000 | 業務委託費 | 16,800 |
| 事務費 | 50,000 | 事務費 | 24,928 |
| 通信費 | 100,000 | 通信費 | 116,230 |
| 交通費 | 250,000 | 交通費 | 157,460 |
| 事業費 | 6,470,000 | 事業費 | 2,680,100 |
| 会誌発行費 | 4,350,000 | 会誌発行費 | 1,950,760 |
| 研修会費 | 400,000 | 研修会費 | 27,938 |
| 目録サポート | 600,000 | 目録サポート | 105,420 |
| webワーキング | 500,000 | webワーキング | 450,030 |
| 研究援助 | 300,000 | 研究援助 | 100,000 |
| 統計調査 | 50,000 | 統計調査 | 45,952 |
| 総会参加助成金 | 150,000 | その他の事業 | 0 |
| その他の事業 | 120,000 | 対外活動費 | 117,630 |
| 対外活動費 | 250,000 | 資料費 | 20,916 |
| 資料費 | 45,000 | 資料管理費 | 113,820 |
| 資料管理費 | 120,000 | 会議費 | 17,821 |
| 会議費 | 50,000 | 予備費 | 0 |
| 予備費 | 100,000 | 雑費 | 0 |
| 雑費 | 7,931 | | |
| 計 | 7,632,931 | | 3,402,793 |

平成 21 年度会計監査

単位 円

| 収入 | 金額 | 支出 | 金額 |
|-------------------------|-----------|-----------|-------------|
| 前年度繰越金 | 738,931 | 総会費 | 137,088 |
| 会費 | 3,660,000 | | |
| 平成 20 年度 @ 30,000×7 | 210,000 | 業務委託費 | 16,800 |
| 平成 21 年度 @ 3,000×113 | 3,390,000 | 事務費 | 24,928 |
| 賛助会員 @ 50,000×1 | 50,000 | 通信費 | 116,230 |
| 入会金 | 10,000 | 交通費 | 157,460 |
| 事業収入 | 360,359 | 事業費 | 2,680,100 |
| 28 巻講読会費 | 60,000 | 会誌発行費 | 1,930,760 |
| 29 巻講読会費 | 276,000 | 研修会費 | 27,938 |
| 会誌講読料 | 1,500 | | |
| 刊行物売上 | 19,650 | 目録サポート | 105,420 |
| メディカルオンライン使用料 | 209 | Web ワーキング | 450,030 |
| 研修会参加費 | 3,000 | 研究援助 | 100,000 |
| | | 統計調査 | 45,952 |
| | | その他の事業 | 0 |
| 利息 | 935 | 対外活動費 | 117,630 |
| その他 | | 資料費 | 20,916 |
| 広告掲載料 | 921,000 | 資料管理費 | 113,820 |
| 25-29 巻 | | 会議費 | 17,821 |
| | | 予備費 | 0 |
| | | 雑費 | 0 |
| 計 | 5,582,225 | 計 | 3,382,793 |
| | | 次年度繰越金 | 2,199,432 円 |

上記決算については、会計監査を終了しました。

平成 22 年 3 月 20 日

長谷知子 印

源江亜由美 印

議案Ⅲ. 平成 22 年度活動方針

平成 21 年度同様、病院図書館を取り巻く状況はさらに厳しさを加えてきた。病院の経営見直しに伴う予算削減など、なるべく低予算で結果を求められる時代となってきた。そんな中で病院図書館の存在を認識してもらうのはなかなか困難であるが、安心で安全な医療を提供する基礎となる知識・情報提供の場として機能するよう、担当者がスキルアップし、業務改善につとめて利用者へ存在感をアピールしていくことが必要と考える。

当協議会は、医療情報を担うエキスパートを養成することを期待されていると従来考えており、専門知識の習得の場として研修会、会誌を提供し、研修活動に取り組んできた。今後もこれを活動方針の基本と考える。

研修活動としては、残念ながら今年度の開催数は少なかったが、2 回～3 回の研修会の開催と、実践能力を高めることができるような勉強会や、地域での懇談会などの開催など多彩な企画を提案していきたい。会誌「病院図書館」は平成 21 年度同様、会員のスキルアップにつながる記事を掲載していく。会誌創刊 30 周年を迎え、それに伴った企画を検討している。ホームページは安全で快適な環境を持つために、リニューアルを行う。会員専用ページも設け、意見交換の場としたい。Kinki Webcat は改修作業を継続する。電子メールによるニュースレターの配信は、今年度同様、年 4 回程度を目途に配信する。

幹事のあり方については先年よりの検討課題である。見直しの基礎資料となるアンケート調査は、今年度末に行った。結果については第 121 回研修会（事例・研究報告会）で概要について報告する。厳しい職場環境にあつて協力できる体制にない担当者が多いのが実状であるが、協議会事業を継続するだけでなく、発展していくためには人材を必要とし、協議会運営の方針決定に当たっては会員の声を基本としている。そのための会員の協力は不可欠であり、今回行ったアンケート調査が現状を把握し、今後のあり方を検討するための資料として分析を行いたい。

また、幹事の選出方法についてもアンケートの一項目としたが、回答を参考に一部会員に負担のかからない、機関加盟の利点を生かした運営方法について検討を加えていきたい。

平成 18 年度から研究助成金制度を開始したが、平成 21 年度の応募は 1 件であった。研究活動は担当者のスキルアップにつながると考え、この事業は継続し、平成 22 年度も年 10 万円、3 年の更新を可として新規・継続の申請を募集する。

総会への出席を促すために、一定の条件を設け、交通費などの助成を行うことについて、平成 21 年度には予算化したのが、平成 22 年度には研修会への交通費助成についても予算化したい。

対外交流については、従来通りほかの図書館ネットワークとの緊密な交流を図っていくが、各団体の研修会などへの参加については、報告義務などの条件を定めた上で助成を行うことで会員へ働きかけていきたい。

以上を総括して、平成 22 年度の当協議会活動は継続事業を進めつつ、新たな事業・目標を模索し、対外的にも広く協力活動を行い、運営・事業活動については新旧世代の交代を円滑に図っていくことを課題とする。

議案Ⅳ. 平成 22 年度事業計画

1. 医学文献情報活動

- 医学雑誌現行情報の収集と目録のメンテナンス

2. 教育研修活動

- 研修会（セミナー形式）・勉強会の開催
- 研修会参加交通費の助成
- 関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
- 研究助成金制度の継続
- 総会参加助成制度の継続

3. 出版広報活動

- 会誌「病院図書館」の季刊発行
- ホームページのリニューアル
- 会誌・会報バックナンバーの収集保存
- 会誌創刊 30 周年記念企画
- ニュースレターの発行

4. 年次統計などの調査活動

- 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- 関連団体との交流・連携

議案Ⅴ. 平成 22 年度予算

(収入の部)

(支出の部)

| 費目 | 金額 | 費目 | 金額 | 摘要 |
|---------------|-----------|------------|-----------|--------------------|
| 前年度繰越金 | 2,199,432 | 総会費 | 150,000 | 選挙費用、議案書作成費用 |
| 会費 | | 特別講師謝礼・交通費 | | 会費請求、他 |
| 平成 22 年度 | | 業務委託費 | 50,000 | |
| @ 30,000×122 | 3,660,000 | 事務費 | 100,000 | 事務用品、他 |
| @ 50,000×4 | 200,000 | 通信費 | 100,000 | 事務局・各部会連絡 |
| 平成 17-21 年度未納 | | 通話料 | 100,000 | 会員通知他 |
| @ 30,000×35 | 1,050,000 | 交通費 | 350,000 | 役員会、幹事会 |
| @ 50,000×4 | 200,000 | | | 各部会、JMLA 近畿地区 |
| @ 40,000×1 | 40,000 | | | 例会、他 |
| 事業収入 | | 事業費 | 6,700,000 | |
| 会誌購読会費 | | 会誌発行費 | 4,500,000 | 会誌 29(2-4) 30(1-4) |
| 平成 22 年度 | | | | (@50 万、諸経費を含む) |
| @ 6,000×70 | 420,000 | 研修会費 | 400,000 | 刊行物 |
| 未納 | | | | 定例研修会、事例報告会、 |
| @ 6,000×36 | 216,000 | | | 勉強会開催経費、配布資料費、 |
| | | | | 交通費助成 |
| | | 目録サポート | 600,000 | 所蔵目録 web 版メンテナンス、他 |
| | | web ワーキング | 500,000 | 活動経費 |
| | | 研究援助 | 300,000 | |
| | | 統計調査 | 50,000 | 2010 年度調査費用 |
| | | 総会参加助成金 | 150,000 | 2010 年度総会用 |
| | | その他の事業 | 200,000 | |
| | | 対外活動費 | 300,000 | JMLA 総会派遣費、他 |
| | | 資料費 | 45,000 | 雑誌購読料、他 |
| その他 | | 資料管理費 | 50,000 | 病因協所蔵資料 |
| 広告掲載料 | | 会議費 | 50,000 | 会場使用料、他 |
| 29 巻 | 290,000 | 予備費 | 650,000 | |
| 28 巻 | 330,000 | 雑費 | 60,432 | 慶弔費、搬送費 |
| | 8,605,432 | | 8,605,432 | |